

「住みたい」 「住み続けたい」 まちを未来へ



我が国は、人口減少と少子高齢化の一層の進展に加えて、新たな感染症や頻発する自然災害など、社会全体に影響を及ぼす課題に直面しています。また、デジタル技術の進歩は、私たちの暮らしに大きな変化をもたらしつつあります。

このような時代の変革期にあって、将来世代に負担を先送りすることなく、持続可能な行政サービスを提供し、これからも市内外の方から、「住みたい」「住み続けたい」と感じていただけるよう、市民とともに歩むまちづくりの指針として、令和3年度からの8年間を計画期間とする第6次伊丹市総合計画を策定しました。

計画の策定にあたっては、市民意識調査や全世帯対象のアンケート調査をはじめ、市民ワークショップ「ミライタミーティング」などを開催し、ご参画いただいた市民の皆さまから多くのご意見をいただきました。計画に掲げる将来像「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」に、その思いが込められています。これまで本市で培われてきた市民相互のつながりや支え合いを大切に、市民の参画と協働を推進することにより、全ての市民が安心して生き生きと暮らし、未来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長できるまちを目指してまいります。

最後になりましたが、本計画の策定にご協力いただきました方々へ、厚くお礼申し上げます。

令和2年12月

伊丹市長 藤原 保 幸